

競 技 注 意 事 項

1. 2023 年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。

2. 招集について

(1) 招集時間

トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので 裏表紙の競技時間表を参照のこと
フィールド競技	

招集所は、第1ゲート（100m ゴール側）外に設ける。

- (2) 主競技場への入場は、**招集完了後、選手誘導係の誘導によって入場**するので、招集所にて待機すること。
- (3) 招集は必ず本人が行い、代理による招集は認めない。招集に遅れた選手は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出ること。
- (4) リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受ける。
(オーダー用紙はT I Cにある。)
- (5) 電子機器類（携帯電話、ミュージックプレーヤー、スマートウォッチ等）の競技場への持込を禁止する。招集所で持ち物をチェックする。
- (6) 混成競技の招集については、各日の第1種目を招集所で行う。第2種目以降は、トラック種目は20分前、フィールド種目は30分前に**現地**で審判に招集を受けること。

3. ビデオ監視システムを使用し判定を行うことがある。

4. スパイクピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投げは12mm以下とする。

5. 走幅跳・三段跳・やり投の予選は拍手を求めることを禁止する。

6. 競技用シューズの靴底の厚さは、日本陸連競技規則（TR5）の通りとする。

7. 800m予選はセパレートレーンスタートとする。プログラム記載のレーンに入ること。

8. 800m以上の種目は招集時に、腰ナンバーカードを受け取り右腰斜め後方に着用すること。
レース終了後、係員に返却すること。

・3000m・5000m・5000mW・3000mSCは別途**黄色の腰**レーンナンバーカードを配布するので、**左腰に着用のこと。**

9. 5000mWは招集所において競歩用ビブスを貸与するので、胸・背に着用すること。
レース終了後、係員に返却すること。

10. 1500m以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。

11. 男子5000m・男子3000mSC・女子3000mはタイムレースとし順位を決定する。

12. トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可・指示を受けること。

13. バーの上げ方 (天候により、練習・開始の高さを変更することがある)

<走高跳>

	(練習)			(開始)				
男子	1.65	1.80	1.90	1.70	1.75	1.80	1.83	以降 3 cm
女子	1.35	1.45	1.55	1.40	1.45	1.50	1.53	以降 3 cm

<棒高跳>

	(練習)			(開始)				
男子	3.80	4.20	4.60	3.60	3.70			以降 10 cm
								(同記録の場合は 5 cm 上下とする)
女子	2.00	2.60	3.30	2.00	2.20			以降 10 cm

<混成競技の走高跳>

	(練習)			(開始)										
男子	1.35	1.50	1.65	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	・
女子	1.10	1.25	1.40	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	・	・

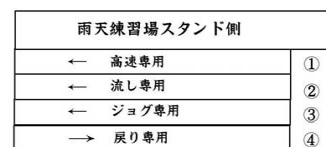
14. フィールド計測ライン

	男子	女子
走幅跳	6m20	4m80
三段跳	12m50	10m00
砲丸投	11m50	8m00
円盤投	33m00	27m00
ハンマー投	30m00	
やり投	45m00	28m00

15. 走幅跳・三段跳・走高跳のピットは、メインスタンド側よりAピット、Bピット、Cピットとする。
16. 三段跳の踏み切り板は、男子 12m、女子 10m とする。
17. 走高跳・棒高跳については、ジャンプオフによる順位決定を行うものとする。
18. 各種目 1~8 位までに入賞した選手は、表彰を行うので通告後直ちにエントランスに集合すること。
19. 競技エリア内へは、選手・役員・許可者以外の立入を禁止する。
20. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。
21. 第二競技場、練習場について
 - ・ベンチを設置することを禁止する。
 - ・ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しないこと。
 - ・1・2レーンは、長距離専用、3~6 レーンは、流し等の専用、7・8レーンはハードル専用とする。
 - ・スタート練習は110mHのスタートラインを使用のこと。
 - ・リレーのバトンパス練習は衝突回避の為、バックストレートを使用すること。
 - ・走幅跳、走高跳の練習は所定のピットで行う。
 - ・投てきの練習は禁止する。(投てき場も使用不可)
 - ・走路及びピットに立ち止まっての指導等を禁止する。
 - ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - ・直走路の横断は十分に注意すること。

22. 雨天練習場の使用について

- ・スタンド側の1レーンは、高速専用とする。
- ・2レーンは流し、3レーンはジョグ専用とする。
- ・外側のレーンは戻り専用とする。
- ・オールウェザー部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。
- ・多目的グラウンド(旧補助競技場)側アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。



オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

23. 競技場内施設利用等について

- ・更衣室は、TICでADカード受領後、使用すること。
- ・メインスタンド及び2階コンコースは、防水処理加工保護のため、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。また、ベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。
- ・メインスタンドにテントの設置を禁止する。
- ・メインスタンド中央通路より上については、席を各校控え場所としてもよい。
- ・芝生席、バックスタンドにベンチ、テントの設置は可とする。
- ・メインスタンド1階への入場は役員・ADカード持参者のみとする。
- ・メインスタンド2階コンコースでのチームベンチ設置は可とするが、通路を確保すること。
- ・スタンド入口側(トイレ側)は通路として使用するの、ベンチの設置は禁止する。

24. その他

- ・感染症対策については、別紙「競技会開催における基本的な感染症対策」を参照のこと。

(三重陸上競技協会 HP 参照)

- ・競技場、観覧席とも汚さないように気をつけて、使用者で清掃して帰ること。
- ・持ち物の保管は、各自で責任を持つこと。
- ・選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト近く及び外周を通り退場すること。
- ・競技場周辺における投てき練習は禁止する。
- ・競技開始前の主競技場の使用(トラックのみ)は、以下の通りとする。

・ 1日目 7:30~8:45 ・ 2日目 7:30~9:00 ・ 3日目 7:30~9:20